

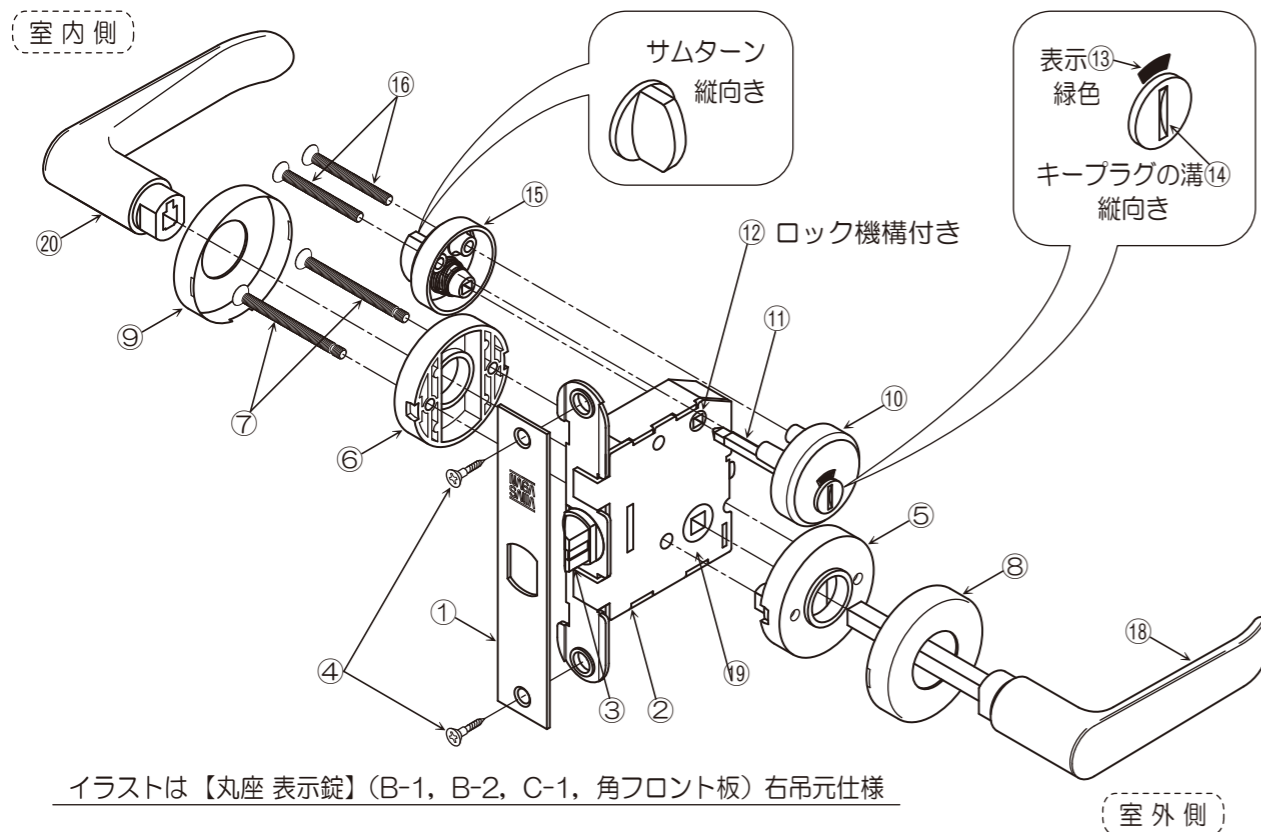
丸座【LS・LE・LG錠対応】レバー set 取付説明書

取付上の注意

※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。

※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。



イラストは【丸座 表示錠】(B-1, B-2, C-1, 角フロント板) 右吊元仕様

A：吊元の確認と錠の取り付け

1. 「左吊元」の場合は、フロント板①をはずし、錠②のラッチボルト③を廻してあわせませす。
2. 錠②を図の向きで、扉加工部に差し込みます。
3. 錠②とフロント板①をあわせて、固定ねじ④2本で取り付けます。

B-1：【空錠】の取り付け

1. 室外側補強座⑤を扉加工部に差し込みます。
2. 室内側補強座⑥を図のように室外側補強座⑤にあわせ、固定ねじ⑦2本で仮固定します。
(固定ねじ⑦の先端に切欠き溝があれば、扉厚 30～35 mm時、先端部を折り取ります)

⚠ 角芯棒付レバーハンドルを仮セットし、錠が正常に作動することを必ず確認してください。補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。

3. 補強座を固定ねじ⑦2本で固定します。
4. 仮固定のレバーハンドルをはずし、座カバー⑧⑨を上下『切欠き部が下』に注意して嵌め込みます。

B-2：【間仕切錠】【表示錠】【シリンダー付間仕切錠】の取り付け

1. 間仕切座⑩(表示座・シリンダー付間仕切座)のロックバー⑪を、錠のカム穴⑫に差し込みます。
(表示⑬は緑色。キープラグの溝⑭は縦向き。シリンダー付間仕切錠は、上記のようにセットします)
2. サムターン座⑮(サムターンは縦向き)をセットし、固定ねじ⑯2本で取り付けます。
※ サムターン座カバー⑰がある場合は、向きに注意して嵌め込みます。

C-1：ワンタッチレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル⑱を錠角穴部⑲に差し込みます。反対側レバーハンドル⑳をセットします。
※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定できます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。
その時は上記『ワンタッチレバーの取りはずし方』を参考にゆるめ、適正な位置にあわせてご使用ください。

C-2：ねじ止めレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル⑲を錠角穴部⑲に差し込みます。反対側レバーハンドル㉑をセットし、TPねじ㉒で固定します。
※ レバーハンドルのガタツキがないよう、しっかりと取り付けてください。レバーにより、TPねじ㉒の固定位置が変わります。

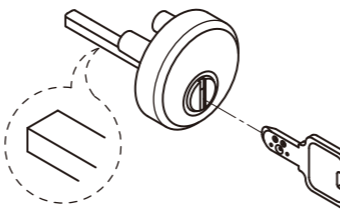
B-1：固定ねじ⑦の折り取り【扉厚 30～35 mm】

注意：ねじを折る時は、折った部分が目に入ったり、身体に当たらないように注意してください



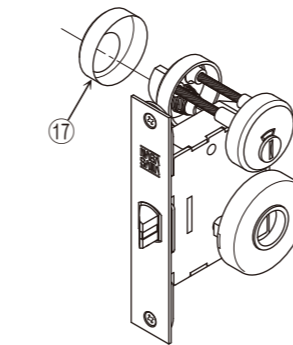
B-2：シリンダー付間仕切錠の取り付け時

錠を抜き取り
キープラグの向きが横長になっているのを確認し錠カム穴⑫にセットします



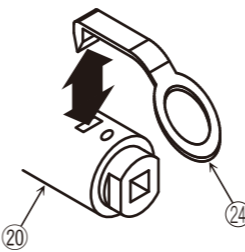
B-2：【丸座】サムターン座カバーの取り付け

サムターン座カバー⑰がある場合は図のように嵌め込みます



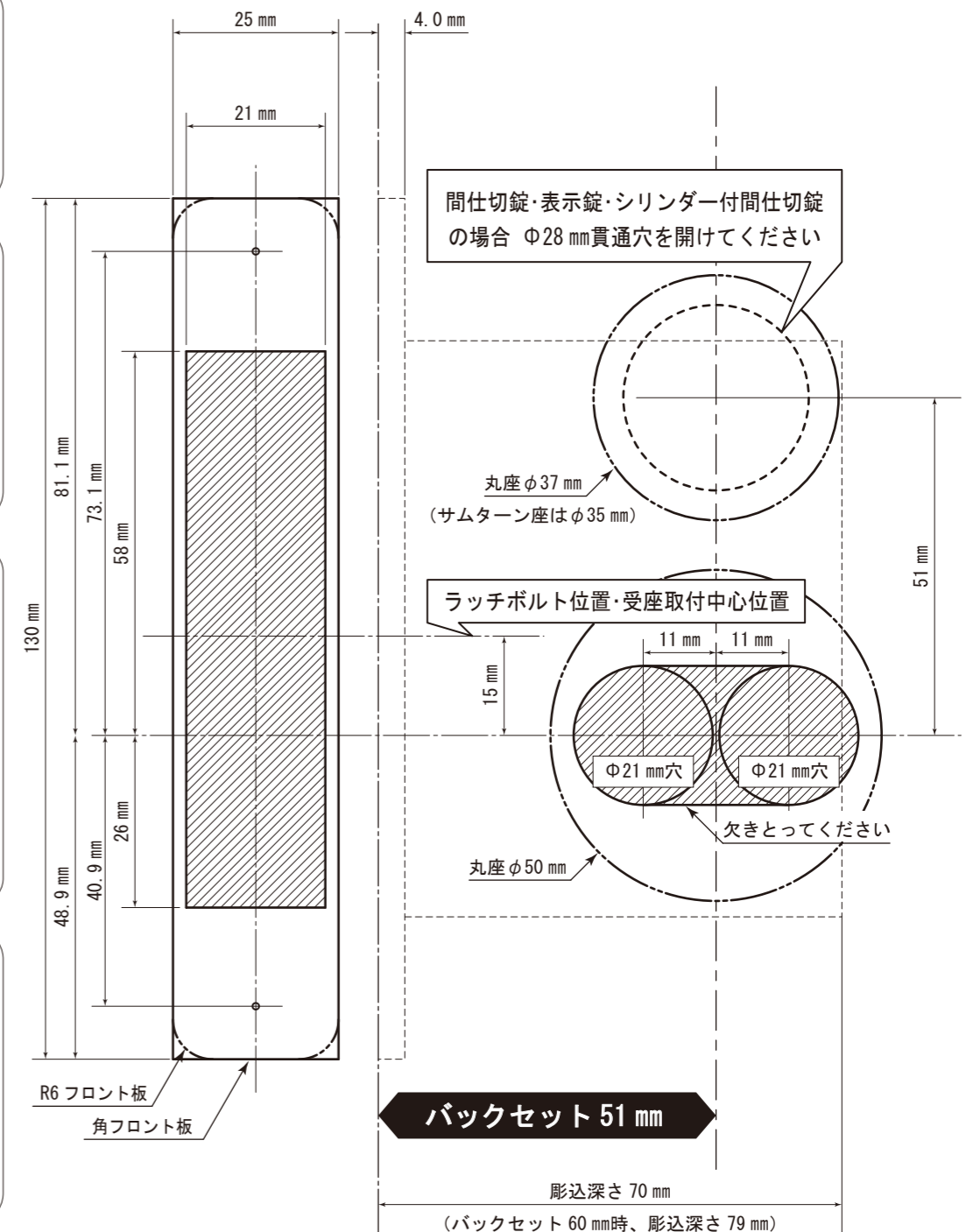
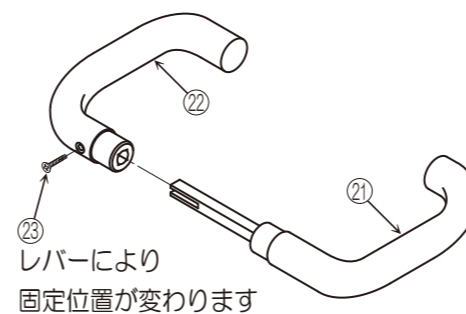
C-1：ワンタッチレバーの取りはずし方

解除ブッシュ⑳を図のようにレバーハンドル㉑裏面の穴に差し込んだ状態で角芯棒付レバーハンドル⑱を抜き取ります



C-2：ねじ止めレバーハンドルの取り付け

レバーにより固定位置が変わります



バックセット 51 mm

NAGASAWA

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代)
FAX. 03-5967-3103

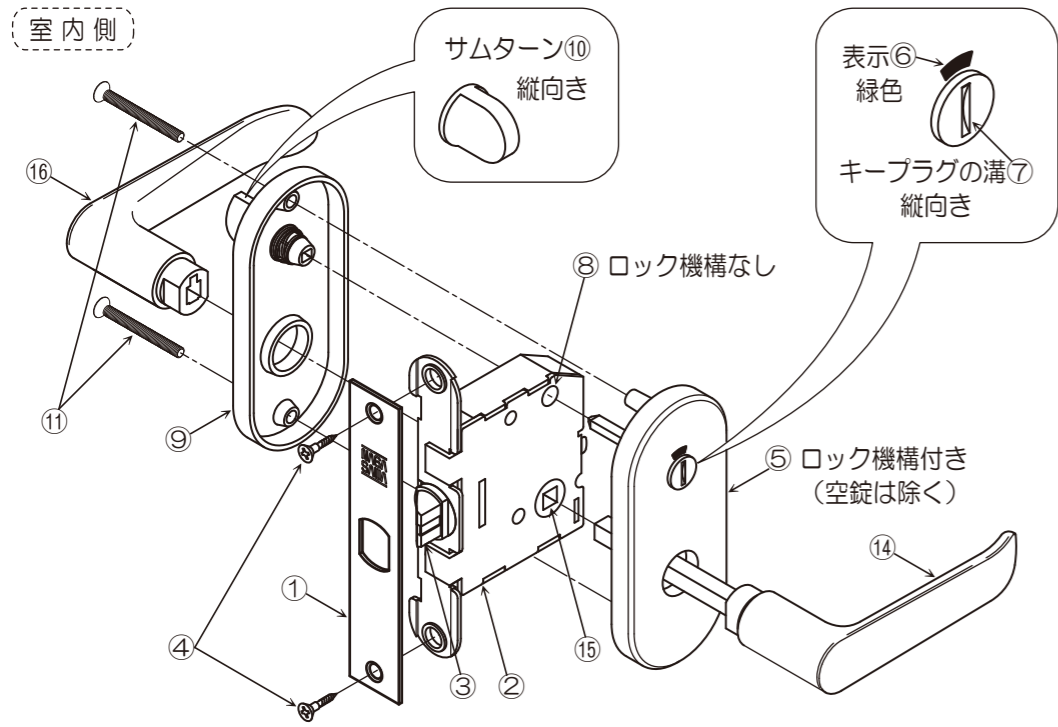
福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

小判座・角座・木瓜座・3号座 【LS・LE・LG錠対応】レバー set 取付説明書

取付上の注意

※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。
※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。



イラストは【小判座 表示錠】(B-1, C-1, 角フロント板) 右吊元仕様

室外側

A: 吊元の確認と錠の取り付け

1. 「左吊元」の場合は、フロント板①をはずし、錠②のラッチボルト③を廻してあわせませす。
2. 錠②を図の向きで、扉加工部に差し込みます。
3. 錠②とフロント板①をあわせて、固定ねじ④2本で取り付けます。

B-1: 【小判座】【木瓜座】【3号座】【角座】の取り付け (室内座にねじ止め固定)

1. 室外座⑤の脚部を扉加工部に差し込みます。
(表示錠・間仕切錠・シリンダー付間仕切錠は、上記のようにセットします)
2. 室内座⑨を図のように室外座⑤にあわせ、固定ねじ⑪2本で仮固定します。
(固定ねじ⑪の先端に切欠き溝があれば、扉厚 30~35mm時、先端部を折り取ります)

⚠ 角芯棒付レバーハンドルを仮セットし、錠が正常に作動することを必ず確認してください。補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。

3. 仮固定していた固定ねじ⑪2本をしっかりと取り付けます。

B-2: 【角座】の取り付け (補強座にねじ止め固定し、座カバーを嵌めるタイプ)

4. 座を固定ねじ⑪で取り付けした後、座カバー⑫⑬(表示錠・間仕切錠は⑬のみ)を嵌め込みます。上下『切り欠き部が下』に注意してください。

C-1: ワンタッチレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル⑭を錠角穴⑮に差し込みます。反対側レバーハンドル⑯をセットします。
※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定できます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。その時は上記『ワンタッチレバーの取りはずし方』を参考にゆめ、適正な位置にあわせてご使用ください。

C-2: ねじ止めレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル⑰を錠角穴⑮に差し込みます。反対側レバーハンドル⑱をセットし、TPねじ⑲で固定します。
※ レバーハンドルのガタツキがないよう、しっかりと取り付けてください。レバーにより、TPねじ⑲の固定位置が変わります。

